

じじぐれ祭 応援隊員の募集

じじぐれ祭の担い手が不足していることから、その応援をするため、「ふくい若者チャレンジクラブ」の福井坂井地区役員4人で平成24年9月に「じじぐれ祭応援隊」を結成しました。

5月5日のじじぐれ祭に参加してくれる若者（じじぐれ祭応援隊員）を募集しています。
18～35歳の福井県ゆかりの若者なら、どなたでもOKです。

お問い合わせは
ふくい若者チャレンジクラブ事務局まで
電話：0776(20)0237
mail: youthchallenge@pref.fukui.lg.jp

M E S S A G E

私は、兵庫県出身ですが、自然が豊かで、人が温かな上味見地区がとっても好きになり、上味見に住みながら都市と農村をつなぐ仕事をしています。

主には、子どもを対象にした自然体験活動やキャンプの企画運営を行うかたわら、都市圏の大学生などの若者などと上味見地域の地域活性化のための活動を行っています。

じじぐれ祭りは、新芽の息吹を感じながら、厳しい冬を乗り越え、春の訪れを祝う大切なお祭りです。

ぜひ皆さんもじじぐれ祭りに参加して、福井の里地里山の魅力に気づき、福井をもっと好きになりませんか。

じじぐれ祭応援隊長 伊藤弘晃 現在のじじぐれ祭の応援隊



「ふくい若者チャレンジクラブ」とは

若者の活動のきっかけづくりや仲間づくりを図るため、県の支援により平成23年12月に設立

18～35歳の本県出身者、本県在住者、本県にゆかりのある方で構成。現在300人超のメンバー登録

クラブのこれまでの主な活動実績

- ・勉強会・交流会の開催、若手起業家の講演会の開催
(ワールドカフェ、若手経営者との座談会、カラー心理学&顔学セミナー、フェイスブック研修会、そば講座&そばうち体験、都市農村の若者交流会の開催など)
- ・山形県との交流
(若者との意見交換、まちづくり事例の視察など)
- ・月2回のメルマガの配信
(クラブ活動、地域イベントの情報など)

「ふくい若者チャレンジクラブ」の 新規加入メンバーを募集中です!!

ホームページから、登録できます。(登録料・会費無料)

ふくい若者チャレンジ



お問い合わせ先

ふくい若者チャレンジクラブ事務局(福井県男女参画・県民活動課)
電話:0776(20)0237 FAX:0776(20)0632
E-mail:youthchallenge@pref.fukui.lg.jp

じじぐれ祭 応援隊員 募集中!

～じじぐれ祭に参加する若者を募集しています～



チャレンジするって
素晴らしい!



ふくい若者 チャレンジクラブ

春に感謝する祭 じじぐれ祭



じじぐれ祭 の一日



- 「じじぐれ祭」は、毎年5月5日に、福井市(旧美山町)河内の住吉神社で行われる祭りです。
- 「じじぐれ祭」は、春の喜びを感謝する祭りです。「じじぐれ」とは、「ぢぢふり」がなまったもので、「野山の春の気配に心が奮い立つ」という意味です。
- 伝承によると、「じじぐれ祭」は、この地区の上比丘尼の「神の森」から、現在の小谷の山に創建された社殿に神さまをお移した、遷座の儀式に由来しているものとされています。
- 昭和42年に県無形民俗文化財の指定を受けています。
出所:美山町50周年記念誌「美山50年のあゆみ」(平成18年1月刊行)

じじぐれ祭の開催場所(福井市河内)



福井市中心部から国道158号、県道2号武生美山線、国道476号を経て現地 約30km

柴神輿の材料の採取

当日の午前6時ごろ柴神輿の材料(ブナ、シデ)を採集します。また、丸太で井桁を組み、柴神輿の台座を作ります。



真ん中の赤いものが 三体の依代の花束

台座にブナやシデの枝をさしこみ、神社が祀る三体の神様を、三体の依代(よりしろ。シヨウブ、コブシ、ヤマブキ)の花束とし、木の棒につけて、柴神輿の中央に打ち込みます。



柴神輿は、フジのつるなどで縛って作り、釘や縄は使用しません。

依代・神霊がよりつく
対象物のこと

出発前の柴神輿

午後2時 神主による祝詞があげられ、神酒を柴神輿にふりかけ、神輿が出発します。



柴神輿の巡行

午後2時半ごろ柴神輿を担ぎ、鳥居と並行する榎(ケヤキ)の巨木の間をくくり、旧道、旧家を廻ります。



「千代、千代、千代の花の都の手に手をこめて、山それ、そ、わ、か」の御神歌を歌いながら柴神輿をゆすり、さし上げ、村中を舞います。



じじぐれ祭りの踊り

午後3時過ぎ 神社に戻ると、じじぐれ祭りの余興、踊り、太鼓演技があります。

三体の神の依代の競い抜き

午後4時半ごろ柴神輿の解体神事を行います。太鼓を合図に、若衆達は、神輿に飛び乗り、神輿の中央にある三体の神の依代を競い抜きます。

